

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 232 号 2017. 8. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

TOREK 夏季農産展 2017

● 8月3日(木)販売

暑い中、会場は自然農法の作物を求めの方でごったがえしていました。冷たいカキ氷やイチゴシェイク、梅ジュースなどを飲んで一息入れ、たくさんの夏野菜や加工品を買うことができました。生産者の方といろいろお話もできました。自然農法の野菜でこの夏も乗りきれそうです。

● 8月20日(日)展示

出品者 77 名、出品数 241。前日に激しい雷雨があり、異常に雨の多い 8 月ですが、自然農法の作物がたくさん出品されていました。作物と出品者のコメントひとつひとつに、畑や作物に対する愛情と感謝の心を感じました。虫がついたナスの葉を一枚一枚洗って落とすというエピソードを読んで、すごい情熱だとびっくりしました。三六九会のお茶畑の取り組み発表では、自然農法の年数が 30 年であること、今年のお茶を 369 本製茶できたことなど、すごいなと思いました。



体感コーナー(試食)では、いろいろな野菜をいただきました。とくにジャガイモは甘みがあっておいしかったです。ニンジンが苦手な方が、生のニンジン初めて食べて、「甘くておいしい」と感激されていたのが印象に残っています。

緑茶と紅茶の飲み比べコーナーもありました。慣行農法、有機栽培に比べ、自然農法は香り良く、甘みがあって、後味もスッキリしていると思いました。土瓶

から直接、においをかいでみると、違いがよく分かりました。スタッフは「有機栽培は、においがきつくて、目が痛くなる」と言っていました。自然農法の味を堪能できた一日でした。(編集部: 田村)

自然農法への情熱(その1)

千葉県 西山欣宏

自然農法をやりたいと思ったのは、20歳のときでした。きっかけは、堀さんの就農体験を聞いて、「今やらなくて、いつやるんだ」という気持ちでした。23歳のときに、荒木薫さんが畑を借りている地主さんの所で、農業の勉強をしながら働くことになりました。その間、地主さんより畑をお借りして自然農法に取り組みました。荒木さんが亡くなって、5反の畑を引き継ぐことになりました。どうして採れるのか、採れないのか、悩む日々が続きました。自然農法勉強会に参加し、土と真剣に向き合うことを学びました。春大根がとても良く、1000本くらい収穫できました。人参も良いのが採れました。しかし、何が良く採れたのか分かりませんでした。土なのか、種なのか。このまま続けることへの不安と、給与引き下げの話による心配、この仕事をしながら5反の畑を続けるには体力の限界を感じ、転職して畑に入る選択をしました。



配送業への内定が決まりましたが、地主さんより畑を返してほしいと言われてしまいました。すべて終わったと思いました。もう自然農法に関わることはなくなったと疲れきっていました。しかし、TOREKの長島京子様より、少しでも畑を借りて続けたほうがよいとお話を頂き、畑を探していた矢先、知人の広瀬さんにご紹介いただき、今の畑の地主さんから、すぐに畑をお借りすることができました。

配送の仕事が始まりました。朝早くから夜遅くまで働き、休日は休んでいる気持ちにはなれません



でした。時間に追われ、目の前にある荷物を運ぶのに必死でした。

平成23年3月11日、東日本大震災のとき、私は一人配達していました。停車しているトラックの中で、車ごと倒れてしまうのではないか、というほどの大きな揺れに襲われました。たまた外に出て、地面に伏せました。揺れが収まり、荷物を取りに一度会社に戻りました。テレビでは津波がどうか言っています。でも私は目の前にある仕事以外考えている余裕はありませんでした。人のことなど、そして家族のことも考えられなくなっていました。

そのような中、先輩の中村さんより「西山くんは、どこに向かおうとしているの?」と聞かれたこと、後輩の農園係より畑のことで聞かれたことがありました。自分のことで精一杯だったはずなのに、畑のことになると話が尽きないのです。妻に「畑の話をしているとき、自分は生きている感じがするんだ。何か心の奥から自分のやることなんじゃないかと思うんだ。もう一度自然農法をやりたい。申し訳ない。転職させてほしい」と話をしました。

その後、スムーズに転職場所が見つかり、現在働いている千葉県八街市にある種苗店で働くことになりました。地元の農家さんとの付き合いが多く、具体的な話を聞かれます。種、農薬、肥料のことなど分かっていないと話もできないので、一つ一つ覚えていきました。

その中で疑問がわいてきました。農家さんでも、採れている人と、いない人があるのはどうしてなのか。肥料を入れているから採れているわけではないのか?その差は、時期に合わせているかということ、種や土のせいにして、不平不満の言葉を発していないか、というところにあるのだとも感じました。そこで私は、農家さんと同じ時期に同じ種をまいて収穫をしてみました。結果はよく育ち、よく採れました。他の人でも採れるかと思い、後輩の藤原くん私に私の畑の一部を使ってもらい、実践してもらいました。やはり、よく育ち、よく採れました。時期に合わせることで、自然に合わせることで結果を見せられ感謝いたしました。(…次号に続く)



北海道 尾針農園だより

尾針真智子



タマネギの様子

北海道の尾針です。畑のお知らせの時期になりました。今年は霜の被害はほとんどなく、春先の水不足も一度水撒きをする程度で済みました。タマネギもビーツもお陰様で順調に育っています。

春に苗を植えて収穫を楽しみにしていた父が、7月18日に亡くなり、初めて草取りを、母と弟夫婦や妹と私とみんなで協力してできました。収穫もできるだけ手伝ってくれるそうです。

みんなの思いのこもった作物をお届けしたいと思います。



ビーツの様子

お知らせ

- ★ 自然農法勉強会 9月26日(火) 午前の部 10:30~ / 午後の部 19:00~ (別院講堂)
- ★ 自然農法頒布会 9月28日(木) 鎌ヶ谷会場 11:00~ 売り切れ次第終了

施肥無農薬栽培物の販売予定

9月3日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。 東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- 市川生産グループ: 新茶、ほうじ茶、ほうじ茶ティーバック
- 長柄山自然農園: 卵、温泉卵、燻製卵、ナス、オクラ
- 菜園金野: 玉ネギ、ジャガイモ、カボチャ、ナス
- 中島農園: インゲン、ミョウガ、ジャガイモ、トマト、トウモロコシ、梅干
- ジョリフィユ: いちごのロールケーキ、みかんジュースゼリー、焼き菓子 他
- きじま平自然農産: キュウリ、米粉、納豆

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>